



脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める
意見書の採択を求める請願書

犬山市議会
議長 堀江 正栄 様

2014年 8月 29日

(請願団体) 原発をなくす犬山連絡会

共同代表 犬山年金者の会

共同代表 新日本婦人の会犬山支部

他 ~~1278~~ 名
1091

紹介議員

岡 真
水野 正光
岡村 千里



【請願主旨】

東京電力福島第一原子力発電所での連続爆発、炉心溶解(メルトダウン)事故によって、海も大気も大地も汚染され、これから被爆者が大量にでることが予想されます。

今の子どもたちばかりか、まだ生まれてこない子どもたちにも、計り知れない悪影響を与えると不安に駆られています。人間と核とは共存できないのです。父も母も兄弟も、幼い子たちに何を食べさせ、どこへ避難させるべきか悩んでいます。私たちは未来の命のために、自然を傷つけ、エネルギーを浪費する生活を見直し、あらゆる生物と共存する「持続可能で平和な社会」を希求します。

まず、原発廃止に向けて政治のカジを切り、核エネルギー政策からの大転換を強く訴えます。

【請願項目】

下記の主旨を含んだ意見書を国に提出して下さい。

- 1、 原子力発電所の新規計画を中止し、浜岡をはじめとした既存の原子力発電所の計画的な廃炉を実施することを求めます。
- 2、 使用済み核燃料の処理方法が確立されていない現状で、原子力発電の推進を中止することを求めます。
- 3、 省エネルギー・自然エネルギーを中心に据えた、エネルギー政策への転換を早急に始めることを求めます。